



# 継承と創造

額田中学校 校長室だより



6月3日 (金)

第7号



本校では教師の授業力向上のため、計画的に授業研究を位置付けています。この日は、令和四年度初となる研究授業として一年生英語科の授業を行いました。指導・助言は岡崎市の英語科指導員を務める福岡小学校の先生にお越しいただきました。

授業では、状況に応じた疑問詞の使い方や考え、英語でのコミュニケーションを習熟することをねらいとしていました。会話の場面設定として、おやつと思う出来事を設定し、その謎を解くために、CRSでそれぞれ聞き役と答える役を演じながら英語で会話しました。

英語はコミュニケーションの手段であるため、学ぶ際には「何を相手に伝えるか」という目的や会話の必然性を生み出す状況をつくるのが大切な要素となります。この授業では、疑問詞を用いながら何を聞けばよいかを整理し、相手に質問する過程を経て目的を達成する活動となりました。

言語活動は、その言語を使って相手に働きかける活動です。英語科の授業の中で的小集団の学習「CRS」は、こういったやり取りや即興性を生み出す母体としても有効に機能しています。

\*\*\*\*\*



指導員の先生には、英語の研究授業の他に、同じく英語の「GCT」(グローバル・イングリッシュ・タイム)の二年生の授業を参観していただきました。「GCT」は、英語が話せるおかさきっ子の育成を目指した、ALTがネイティブ・スピーカーとなつてコミュニケーションを中心に行う活動です。本校担当ALTの先生

### ▲2年「GCT」の授業

二年生は入学してまだ二か月を終えたばかりですが、互いに尊重し合い、課題にチャレンジするCRSの授業がどのようなかを理解し、その取組に慣れてきた様子が伝わってきました。のめり込むと楽しい、本気になれる。それがCRSのよさです。



教育実習開始



例年、この時期は教育実習生の受け入れが始まります。今年も先生が三週間にわたり、額田中学校で実習に参加します。とても爽やかな体育の先生です。生徒の皆さんも先生と一緒に頑張ってください。

\*\*\*\*\*

写生会 校内作品展



写生会の構内掲示も整い、作品展を開催しています。構図、彩色、タッチなど、一人一人が持てる力を発揮して描いた作品が並んでいます。六月四日の授業参観時にはぜひご覧ください。各学級の廊下壁面に展示しています。

\*\*\*\*\*

朝の合唱練習



前号で連合合唱の再開をお知らせしましたが、直近の一週間は、朝の時間を使って六月四日(土)の「熱中する高校生に学ぶ会」のゲストとなる、光ヶ丘女子高等学校校合唱部の皆さんへの御礼の合唱を練習しています。今回呼び寄せる光ヶ丘女子高等学校校合唱部は、令和二年、令和三年と二年間にわたり、招聘の段取りをつけていたものの、感染症拡大により中止を余儀なくされてきました。よって、今年度は目の正直ともなる開催です。どんな歌が聞けるのか、たいへん楽しみです。額中生にとっても、こういった会で歌を歌うのは久しくなっているため、歌えることの喜びが味わえる会になるのではないかと思います。

\*\*\*\*\*

二年 第一回 職業講話 様をお迎えして



昨今、キャリア教育の重要性が叫ばれています。中学校でも教育課程の中で、どんな生き方をするのか、どんな職業に就いて社会に貢献するか、何をやりがいとするか等、自分の将来について考える時間を大切に扱うこととなっています。入学して二年生までは、①自分を知る、二年生からは②職業や働くことについて知る、そして三年生になったら③自分が進む道を決める、というように、年齢とともに段階的な取組をしています。講師としてお招きした 様のお話は、「学生のうちは他から何かを与えられる人生。社会人になると他に何かを与える人生」「夢を叶えることは、自分が自分として生まれた目的を果たすこと」「他の誰でもない自分の人生。自分のことは、自分ごと」など、生徒の心に響く言葉がいっぱいでした。職業観だけでなく、自身の体験を基にした生き方に関わる貴重なお話をいただきました。